



医療経営士ニュース | これからの医療現場を担う経営人材のための機関紙

MMS NEWS

2023 8 月号
Vol.150
毎月1回発行(通巻150号)
編集:日本医療企画

一般社団法人日本医療経営実践協会 〒104-0032 東京都中央区八丁堀三丁目20番5号 S-GATE八丁堀9F TEL.03-3553-2906 <http://www.jmmpa.jp/>

第12回「全国医療経営士実践研究大会」審査委員長に聞く

演題発表の注目ポイントはココ！ 医療経営士の実践事例から学ぼう！

10月8日(日)にブリーゼプラザ(大阪市)で開催する第12回「全国医療経営士実践研究大会」大阪大会。医療経営士による演題発表には10名が登壇する。演題発表の審査委員長を務める吉長成恭氏(甲子園短期大学特任教授・教育研究センター長/日本医療経営実践協会)に、今大会における見どころを伺った。

「病医院の未来像」を描く 10名の医療経営士が登壇

第12回「全国医療経営士実践研究大会」大阪大会がいよいよ開催まで間近となりました。今回の大会テーマは、「医療経営士が創造する病医院の未来像——進化する医療経営とその成長戦略」です。

毎回注目されるメインイベントの一つが、全国の医療経営士による演題発表です(表1)。今大会の発表は医療経営士1〜3級の男性8名、女性2名、合計10



本大会の審査委員長を務める吉長成恭氏

名の方々に、発表後にディスカッションも予定されています。

今大会の演題発表を俯瞰してみると、コロナ禍を経てさまざまな制度が変わろうとしている現在の医療を取り巻くタイムリーな状況と、医療経営の現場でまさに今起きている問題、この2つが非常にリアルに報告されているのではないかと思います。そのなかで、自分の病院のあるべき姿はどこにあるのか、将来に向けてどうあるべきかという視点がいま、かなり存在しており、「病医院の未来像」という大会テーマに合致した内容が多くあると感じています。

全国大会における医療経営士の演題発表は、一般的な学会発表にあるような資

格維持のためのものとは異なり、皆さん自発的に手を挙げていただいているからこそその熱量があります。今回発表いただく10名の方も、皆さんが自分自身の仕事に誇りを持って、発表の内容から伝わります。久しぶりに現地開催となる今大会が、その熱を交換し合える場になることを願っています。

リモートで得た知見をリアルな場で共有しよう

今大会は久しぶりに対面での会場開催となります。対面の場では情熱が伝わりやすいですし、得る情報の刺激の強さがまったく違うように感じます。

コロナ禍でさまざまな場面でもリモート化が進んだこ

とで、病院の課題解決に向け、オンラインがいろいろ影響を与えている部分が多くあると思います。遠隔診療はもちろんですが、地域医療の課題を解決するためにオンラインは、今や不可欠なツールとなっています。この全国大会もコロナ禍でオンライン開催が続きま

表1	第12回「全国医療経営士実践研究大会」大阪大会 演題発表について
テーマ	A「医療経営士による病医院経営改善・改革取り組み事例」 B「医療経営士が考える病医院の未来像、成長戦略」のいずれかを選択
カテゴリ	①【経営改革】(組織改革・業務改善/コスト削減、収益力アップ/安全管理、リスクマネジメント等) ②【職域の確立】 ③【人材育成/人材活用】 ④【患者サービス/広報】 ⑤【地域医療連携】 ⑥【その他】のいずれかを選択
審査基準	1.プレゼンテーションの完成度 2.実現の可能性、導入のしやすさ(汎用性) 3.リーダーシップ、実行力・完遂力 4.改善の効果、インパクト(影響力)の大きさ 5.ユニークさ、創造性、イノベーションの度合い

第12回 全国医療経営士実践研究大会 大阪大会

開催日
**2023年
10月8日
日**

医療経営士が創造する 病医院の未来像 進化する医療経営とその成長戦略

参加エントリー
ホームページにて
受付中!

会場
ブリーゼプラザ・
小ホール
大阪市北区梅田2-4-9
ブリーゼタワー7F



大会運営委員長 | **清水 鴻一郎** | 日本医療経営実践協会関西支部支部長/一般社団法人京都私立病院協会会長/
京都清水メディケアシステム会長/医療法人清水会理事長/元衆議院議員

【お問い合わせ先】 一般社団法人日本医療経営実践協会事務局 ☎03-3553-2906 <http://www.jmmpa.jp/seminar/zenkokutaiikai/>

したが、それによって新しい知見も蓄積されました。オンラインのメリットも十分に理解し、享受したうえで、改めてオフラインの良さを確認できる場になるのではないのでしょうか。病医院の未来像を描くにおいて、今大会から新たな展望が大きく開けるのではないかと期待しています。

見どころ満載の演題発表 貪欲に学び現場で活かす！

今回の演題発表の見どころは、医療経営士のコミュニケーション力発揮した実践に基づく医療経営改革の取り組み事例、社会的環境変化に影響される医療サービスへの挑戦、あるべき病医院の姿を見出し、いくチャレンジ精神などです。医療経営士の対応力がいかに発揮されたそれぞれの発表は大変刺激的です。それぞれの発表における注目ポイントは表2をご覧ください。

医療経営士には多様なバックグラウンドを持つ方がいることも大きな魅力です。それだけさまざまな視点からの発表があることに加え、この世界ではまだまだ少数派である女性の登壇者も2名がエンタリーされていることも、医療経営士の多様性を示していると感じますし、この大会だからこそ学べるバラエティ豊かな発表を、ぜひ楽しみにしていただきたいと思えます。

最近の演題発表の流れを見て感じるのは、過去の全国大会における演題発表や協会が行っている研究助成事業の内容に対してしっかりとアンテナを立てていて、その内容を自分の現場に活かしているものが多くなっているということだと思います。そういった取り組みを自分のところに囲い込むのではなく、惜しみなく発表してくれたいというのを嬉しく思います。

必ずしもいい成果がなかったとしても、その現状を踏まえて「次はこうしようと思う」と問いかけるようなものもあって、発表することできざまな反応が生まれ、新たな情報が自分のところにフィードバックされてくる。そういったコミュニケーションのできるものが増えてきているのかなと感じます。

医療経営士の皆さんには、ぜひ会場でディスカッションに参加していただきたい。演題発表者の皆さんの熱量を直接感じて、貴重な実践発表を共有化し、医療経営士の皆さんと一緒に病医院の未来像を創造できることを期待しています。

必ずつながる。医療経営士には多様なバックグラウンドを持つ方がいることも大きな魅力です。それだけさまざまな視点からの発表があることに加え、この世界ではまだまだ少数派である女性の登壇者も2名がエンタリーされていることも、医療経営士の多様性を示していると感じますし、この大会だからこそ学べるバラエティ豊かな発表を、ぜひ楽しみにしていただきたいと思えます。

発表者名(所属機関・役職)	等級	演題タイトル	吉長審査委員長が注目するポイント
久保崇彦 (山口県厚生農業協同組合連合会 長門総合病院医事課長)	3	地域連携と病床再編による 経営改善戦略	新病棟の建て替え工事完了と原価償却費の増大、コロナ禍における患者予測の崩れから医療改善戦略の立て直し挑戦の具体例として、同様の状況にある方にとって大いに参考になるのではないかと。建て替え後こそ医療経営士の力が求められる場面があるというのは重要な指摘。
山内剛志 (社会福祉法人恩賜財団済生会 みすみ病院情報システム室長兼 医事室係長兼診療情報管理室係長)	2	休床・病棟閉鎖からの再スタート ～ピンチをチャンスに! 地方中小病院 が取り組む3つのチャレンジ～	コロナ禍における夜勤看護師不足からやむなく休床に至るピンチを前向きに考えて経営改善に向かった実践例。ピンチをチャンスに変えるような前向きさに加え、実践していくにはリーダーシップが不可欠であり、そこに医療経営士の資質を垣間見ることができる。
横内聖輝 (社会医療法人加納岩財団事務局 経営企画室課長)	3	経営企画室の挑戦 ～新米院長と協働した回復期リハの 経営改革～	コロナ禍、診療報酬改定、競合他医療機関の台頭といった自院を取り巻く環境下で、院長を補佐し「収益改善」というミッションに挑む。奇をてらうことなく基本的なビジネスフレームワークからスタートし、やるべきことを行うことで成果を出す、経営の重要な視点が参考になる。
平石拓也 (医療法人ひらまつ病院財務部)	3	未来を描く人間力が 地域医療を支える原動力	人材育成は医療経営士の大事な役割の1つ。職員各自の人間力向上と成長を促すメソッドの導入を法人理念と合致させたことが、組織の石垣としての人材づくりの重要なポイント。職員に成長することの価値を伝えることが病院の未来像を描くための礎となる。
田中賢司 (社会医療法人社団宏和会 岡村記念病院事務部部长)	2	医療経営士の地球の病院の歩き方 熱風アジア編	マレーシア人医師の研修機会を機に国外の医療サービスの視点から現状に触れることの重要性を伝える。経済的・思想的な価値観が異なる場における医療提供体制からの学びは、国内での医療経営を進めるための重要な刺激ともなる。医療経営士の活躍する場がさらに広がり豊かになるきっかけになるような内容に期待したい。
大宮謙一 (東京ツナクリニック診療部 院長)	1	新規開設診療所における 新興感染症に対する取り組みのまとめ	臨床医としてのコロナ禍の発熱外来における臨床現場での実体験は説得力がある。医療経営士の視点から提言する「柔軟な医療体制の確立」は病医院の未来像を描くうえで非常に重要なキーワードになるのではないかと。自院の枠を超えた地域医療への視点がある点も重要。
蔵地章仁 (豊川市民病院薬局 薬剤師)	3	抗菌薬適正使用支援加算の 医療効果と経済効果に関する研究	薬剤師と医療経営士としての専門性を活かしたテーマ設定であり、医療経営士が持つバックグラウンドの多様性の魅力が現れている発表。適正な医療の提供という医療の本質的な価値と経営改善の実行というWライセンスならではの相乗効果を楽しみにしたい。
城下麻美 (国民健康保険小松市民病院 総務課主幹)	3	オンライン資格確認システムの 利用向上を目的とした現場の 取り組みと見えてきた課題	極めて今日の課題であるオンライン資格確認システムの導入。そこにフォーカスを当てるタイムリーさは大事。システムの利用向上を目的とした現場の取り組みによる新たな課題の抽出は、サービス向上に向けた新たな解決策へのヒントでもあり、注目を集めるポイント。
安藤寛知 (一般財団法人大原記念財団 大原総合病院中央病歴管理室室長)	2	PHRシステムの導入・活用による 顧客満足度向上への取り組み	PHRとCS(顧客満足度)は病医院の未来像と成長戦略に大きな影響を与える要因。PHRの導入・活用からCS向上につなげるところが医療経営士として重要な視点。PHRは医療における情報の非対称性の解消、ひいては医療サービスの質の向上にも寄与する可能性もあり、本発表が新たな一石を投じるのでは。
辻川幸智子 (医療法人徳洲会岸和田徳洲会病院 総務課総務係主任)	2	待ち時間対策と医療機関間の 連携強化の取り組み	待ち時間対策はCSに大きな影響を与える永遠の課題。常に新しい対策が必要となるが、待ち時間短縮をゴールにするのではなく、他医療機関の連携軸の確認と強化を目的に患者サポートセンターやブランディング推進室の設置につなげている点が興味深い。非常に注目すべき組織構造改革の事例。

※8月10日現在。等級は医療経営士資格等級。演題タイトル等は変更になる可能性があります。

わかばケアCOOが人材育成術の秘訣を語る!

日本ヘルスケア
経営学院
公開講座

リクルート流 介護事業所長の ステップアップ講座

好評配信中

●講師… 鈴木勝博氏 [株式会社わかばケアセンター最高執行責任者(COO)]

中央大学法学部卒。1983年株式会社リクルート入社。「とらばーゆ」「じゃらん」「ケイコとマナブ」など情報誌ビジネスに15年間携わる。1998年株式会社ディジットを起業。ナスダック上場でベンチャー起業の草分けとなる。社会人教育、人材ビジネスを経て、2009年に東京都議会議員選挙でトップ当選。東京都の最重要課題である2025年問題に取り組む。足立区認知症サポーター協会を立ち上げ地域での認知症対策に尽力。2017年より現職。

●受講料… 8,800円(税込)
※全10回(オリエンテーションを含む)

●講義時間… 各回約20分×全10回

オリエンテーション動画を無料公開中!

【お問い合わせ先】日本ヘルスケア経営学院 事務局(日本医療企画内) ☎03-3553-2862 <https://hcmi-s.net/>

関東支部で研究会が続々開催！

ちば・神奈川の両研究会で活発な議論を展開

日本医療経営実践協会関東支部では、7月20日にちば研究会、21日神奈川研究会がそれぞれ研究会を開催した。関東支部では地域ごとの研究会が独自に活動を展開しており、参加者はテーマに応じて自由に参加する研究会を選ぶことができる。両研究会の様をお伝えする。

電子処方箋導入における現場の本音が聞きたい！

日本医療経営実践協会関東支部ちば研究会では、7月20日（木）、11回目となる研究会をオンラインで開催した。第一部ではちば研究会事務局を務める医療法人徳洲会千葉西総合病院薬剤部の出雲貴文氏が「病院の節約術」をテーマに講演を行った。出雲氏は「照明器具の節約」「エアコンの温度設定」「金属類の買取」「人件費関連」について、それぞれの具体的な方策を報告。人件費については医師の給与に関して昇給か学会費の補助を選択式にしたという医療法人社団日敏会

濱野長嶋内科の事例を紹介し、同医院の経営企画室室長である山田智氏からも解説が行われた。

第二部では「電子処方箋のトライアル病院の経験」と題して、厚生労働省が全国4カ所で行った電子処方

箋のモデル事業の1つを担った千葉県旭地域の地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院の崎山正章氏が登壇。モデル事業に選ばれた経緯から実際の取り組み内容、これからの見通し等について講演した。

崎山氏は、電子処方箋導入の準備において「HPK Iカードの手配」「周辺調剤薬局との意見調整」「薬剤マスタ/用法・用量マスタの整備」「対応施設としてのポスター掲示（義務）」「マイナンバー受付機対策の実施」が必要となるとし、それぞれを具体的に解説。周辺の調剤薬局との調整については、まず電子処方箋を行うためには病院だけでなく地域の調剤薬局側も対応していなければならぬという前提を述べ、その際各種マスタも統一する必要があるので意見調整が不可欠だと提言。同院のケースではモデル事業だったこともあり厚生労働省主催で定

期ミーティングを行っていたが、実際の運用に当たっては調整が大変になるのではないかと述べた。

講義後の質疑応答では、実際に導入を検討しているという病院の参加者から具体的な質問が相次ぎ、電子処方箋への関心の高さを感ぜさせた。

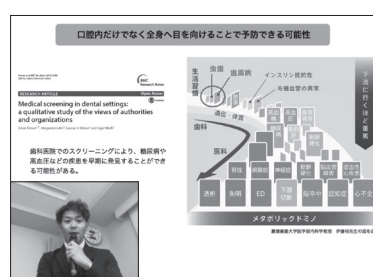
これからの医科歯科連携は新たなフェーズへ

翌21日（金）には第45回神奈川研究会がハイブリッド形式で開催され、「医科歯科連携の課題とは？」医療経営×歯科医療」をテーマに、鎌倉市にあるかじわら歯科クリニック院長の福田貴介氏が講演した。

福田氏は、まず「歯について知っていて欲しいこと」として、スウェーデンやアメリカと比較して日本では予防歯科にかかる回数が多いことを指摘。80歳の平均残存歯数ではスウェーデンが20本なのに対し

ためには歯学部での教育の改革が必須であると提言した。最後に病院内での歯科の役割について言及。病院経営において診療報酬の積み上げに貢献しづらい歯科の導入は容易ではないという現実を語る一方で、病院医療においても口腔ケア、回復期における摂食嚥下リハの重要性が認識され始めているとし、そのロールモデルとして具体的な事例を紹介しながらその有効性を強調した。

講演後は参加者との質疑応答が行われ、「一般歯科の先生に全身状態に興味を持ってもらうための啓蒙のいい方法などはないか」との質問に「地域の歯科医師会を通じてチームを組んで勉強会を行う、総合病院の口腔外科と連携してイベントを行うなどの方法もあるのではないかと答えるなど、これからの医科歯科連携へ向けての貴重な提言も聞かれた。



福田貴介氏は歯科医師が全身へ目を向けることの重要性を強調した(神奈川研究会)

次代を担う医療経営人財をサポートする
月刊 医療経営士
Magazine for Medical Management Specialist
Sep. 2023/9

医療経営士が
参画すべき
地域づくり

自給糧の経営だけ
考えていませんか？

月刊 医療経営士

特集

医療経営士が参画すべき地域づくり

9月号
好評発売中!!

少子高齢化の進展や人口減少に伴い、地域にはさまざまな課題が山積している。地域が抱える課題の解決に
取り組まなければ、そこを拠点とする医療機関にも大きな影響が生じる。特集では、医療機関の地域へのかかわり方や
地域づくりへの取り組みについて取り上げるとともに、そのなかでマネジメント人材が果たすべき役割を考える。

次代を担う
医療経営人財を
サポートする
“医療経営士応援マガジン”

詳細・ご購入は
コチラ

【お問い合わせ先】株式会社日本医療企画 ☎03-3553-2861 <http://www.jmp.co.jp>

事務局 掲示板

第12回全国大会ポスター／チラシが完成
掲示していただける会員の方を募集中!

第12回「全国医療経営士実践研究大会」大阪大会のポスター／チラシが出来上がりました。こちらを掲示していただける会員の方を募集します。ご希望の方は「全国大会ポスター(またはチラシ)希望」と件名をつけ、お名前、認定登録番号、送付先住所、電話番号、必要枚数を明記の上、下記メールアドレスまでご連絡ください。



【ポスターのお申し込み】

E-mail : info@jmmpa.jp

1級資格認定者のみに許された特権
医療経営指導士の制度を活用しよう

当協会では医療経営士1級の方が申請できる「医療経営指導士」の制度を設けています。協会への登録申請により、「医療経営士」「医療経営指導士」の名称を冠した試験対策講座や研究会・講演会の主催が可能となり、事業に伴う収益を得ることも可能。資格要件や申請方法の詳細については当協会ホームページでご確認ください。

「医療経営指導士」制度について

<http://www.jmmpa.jp/support/shidoushi/>

PICK UP 研究会

関西支部

“イチ”からわかる病院経営オンライン塾
(全5回シリーズ)

関西支部では10月19日(木)より、病院・病院職員と取引のある企業担当者を対象としたオンライン塾を全5回で開催する。2021年のコロナ禍に初開催した同オンライン塾は好評につき翌年も継続して開催され、今回で3度目の開催となる。

講師の古株靖久氏(医療経営士2級)は、大手製薬メーカーで約10年間勤務したのち、有限責任監査法人トーマツに入所。病院や介護事業者にコンサルティングサービスを提供してきたこれまでの経験を踏まえ、わかりやすい解説に定評がある。



古株靖久氏



- 日時 第1回 2023年10月19日(木)
「病院経営を取り巻く環境を学ぶ」
第2回 2023年11月16日(木)
「病院の外部環境分析を学ぶ」
第3回 2023年12月21日(木)
「病院の内部環境分析を学ぶ」
第4回 2024年1月18日(木)
「病院経営戦略の策定と実行を学ぶ」
第5回 2024年2月15日(木)
「病院経営の改善手法を学ぶ」
※各回14:00~16:00
- 参加費 各回2,000円(税込)
- 会場 オンライン(Zoom)
- 講師 古株靖久氏
(有限責任監査法人トーマツ)
- 主催 日本医療企画
- 共催 日本医療経営実践協会関西支部、
日本介護福祉経営人材教育協会
関西支部
- お問い合わせ先
株式会社日本医療企画関西支社
担当: 谷田川(やたがわ)
TEL:06-7660-1761

日本医療経営実践協会 支部研究会スケジュール

開催日	開催支部	テーマ	講師
9月2日(土)	関西	“イチ”からわかる データ分析オンライン塾	木下渉氏(有限責任監査法人トーマツ) / 牧野惇氏(有限責任監査法人トーマツ)
9月8日(金)	関西	“イチ”からわかる 介護経営オンライン塾(全5回) 第5回「高齢者向け住宅の未来介護経営を学ぶ」	古株靖久氏(有限責任監査法人トーマツ) / 熊田圭佑氏(有限責任監査法人トーマツ)
9月13日(水)	関東	第4回もっと幸せな医療研究会 テーマ:「チームワーク」	シュナック千賀子氏(スリーロック株式会社 取締役 コーチングファシリテーター) / 福田徹氏(救急科専門医) / 豊島久雄氏(日本経済大学大学院ファーマシーマネジメント研究所)
9月15日(金)	関東	第46回神奈川研究会 テーマ:「帝国データバンクの利活用(仮)」	杉本伸氏(株式会社帝国データバンク東京支社)
9月17日(日)	東海	基礎から学ぶ経営分析コース 医療塾ワークショップ(全4回) 第4回 【総合演習】3C分析・SWOT分析・グループワーク	松田行生氏(医療経営指導士、医療経営士1級)
10月19日(木)	関西	“イチ”からわかる 病院経営オンライン塾(全5回) 第1回「病院経営を取り巻く環境を学ぶ」	古株靖久氏(有限責任監査法人トーマツ)

※日程等は変更になる場合があります。詳細は協会ホームページでご確認ください。

医療経営士 3級 2級 資格認定試験

受験エントリー

8月28日
月まで!!同僚や
お知り合いの方に
ご紹介ください

医療経営士 資格認定試験 日程

試験日 **10月15日**

2023年

受験エントリー期間 **7月31日(月)~8月28日(月)**受験料支払締切日 **8月29日(火)**

※受験エントリーにはマイページへの登録が必要になります。
詳しくは協会ホームページをご確認ください。

	第40回「医療経営士3級」	第26回「医療経営士2級」
受験料 ※手数料別途	9,100円(税込)	16,000円(税込) 両分野受験者 14,000円(税込) 分野受験者 (分野合格者)
受験資格	年齢、学歴、国籍等の 制約はありません	3級資格認定試験合格者かつ、 本協会正会員
試験会場	札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・ 大阪・広島・高松・福岡・那覇	札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・ 大阪・広島・高松・福岡・那覇

団体受験 ◇受験者10名を超える場合、団体としてまとめてお申し込みできます。
◇一定の条件を満たした場合、認定会場制度をご利用できます。※審査があります。